

登 園 届

| | | |
|------------------|---|--|
| 登園届 | | |
| (認) 川島こども園 施設長 行 | | |
| 入所児童氏名 | | |
| 病名「 | 」 | |
| 年 月 日 | 日から病状も回復し、集団生活に支障がない状態になりましたので登園可能と判断します。 | |
| 年 月 日 | | |
| 医療機関 | | |
| 医 師 名 | 印又はサイン | |

認定こども園は乳幼児が集団で長時間生活をともにする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、一人一人の子どもが1日快適に生活できることが大切です。

認定こども園入所児がよくかかる下記の感染症については、登園の目安を参考に、かかりつけの医師の診断に従い、登園届の提出をお願いします。なお、認定こども園での集団生活に適應できる状態に回復してから登園するようご配慮ください。

○ 医師が記入した意見書が望ましい感染症

| 感染症名 | 感染しやすい時期 | 登園のめやす |
|---------------------------------|--------------------------------------|--|
| 麻疹 | 発症1日前から発しん出現後の4日後まで | 解熱後3日を経過してから |
| インフルエンザ | 症状がある期間(発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い) | 発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで |
| 風しん | 発しん出現の前7日から後7日間くらい | 紅斑性の発疹が消失するまで出席停止 |
| 水痘(水ぼうそう) | 発しん出現1~2日前から痂皮形成まで | 全ての発疹が痂皮化するまで |
| 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ) | 発症3日前から耳下腺腫脹後4日 | 耳下腺の腫脹が消失してから (腫れが引いてから登園) |
| 結核 | | 医師により感染の恐れがないと認めるまで |
| 咽頭結膜炎 | 発熱、充血等症状が出現した数日間 | 主な症状(発熱、咽頭発赤、目の充血)が消失して、2日経過してから |
| 流行性結膜炎 | 充血、目やに等症状が出現した数日間 | |
| 百日咳 | 抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで | 抗生剤服用後、7日たち咳が2時間に1回程度になったら |
| 腸管出血性大腸菌感染症 (O157,O26,O111等) | | 症状が治まり、かつ抗菌薬による治療が終了し、48時間を空けて連続2回の検便によって何も菌陰性が確認されたもの。 |
| 急性出血性結膜炎 | ウイルスが呼吸器から1~2週間、便から数週間~数ヶ月排出される | 医師により感染の恐れがないと認めるまで |
| RSウイルス | 呼吸器症状のある間 | 呼吸器症状が消失し、全身状況が良いこと ※0歳児クラスは症状消失後、2週間は病後児保育を利用してください。 |